



WatchUsbAgent Remote Install Guide

2017

2014年 09月 初版
2017年 02月 第二版
© Copyright QuotaSystem, Inc. All rights reserved.

INDEX

WatchUsbAgent Remote Install Guide.....	1
1 はじめに	4
2 使用方法	5
2.1 Windows AD のグループポリシーを利用したリモートインストール5	
2.2 スクリプト「RemoteInstall.vbs」を利用したリモートインストール13	
2.3 スクリプト実行	17

1 はじめに

- 本ガイドは、「WatchUsbManager for Web」のエージェントプログラムである「WatchUsbAgent」を各クライアントにリモートインストールを行うための手順を説明する資料です。
- 本ガイドではリモートインストールを行う方法として以下の2つの方法をご紹介します。
 - Windows の Active Directory のグループ・ポリシーでインストールするもっとも簡単な方法で本ガイドではこちらの方法を推奨いたします。ただし、ドメインログオンしないクライアントPCについてはインストールを行うことはできませんのでこのPCについてはもう一つの方法で行います。
 - 「WatchUsbManager for Web」のインストールディレクトリ下にある次のスクリプトを利用する

RemoteInstall.vbs

リモートインストールを行うためのスクリプトです。

リモートインストールを行うサーバに置き、コマンドプロンプトから実行します。

こちらの方法では、インストール対象のPCがドメインに所属していなくてもリモートインストールを行うことが可能です。

前提条件

■このスクリプトは、無償で使用可能な Microsoft 社の Windows Sysinternals PsTools の PsExec を利用しています。

下記リンク先ページよりダウンロードし、上記スクリプトと同じフォルダに保存する必要があります。

Windows Sysinternals > ダウンロード > プロセス > PsExec

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/bb897553.aspx>

■リモートインストールを行う際、対象のクライアントPCは、Windows ログオンしている必要があります。

■ドメインに所属していないクライアントPCにもリモートインストールは可能ですが、対象のクライアントPCはUACが無効である必要があります。

また、ドメインに所属していないクライアントPCにリモートインストールを行うには、クライアントPCのホスト名、管理者ユーザ名、およびパスワードが必要になります。

本ガイドは、WindowsServer 2008 R2、および WindowsServer 2012 R2 のADサーバに「WatchUsbManager for Web」をインストールし、クライアントPCにWindows7 Proの環境で動作確認を行いました。

2 使用方法

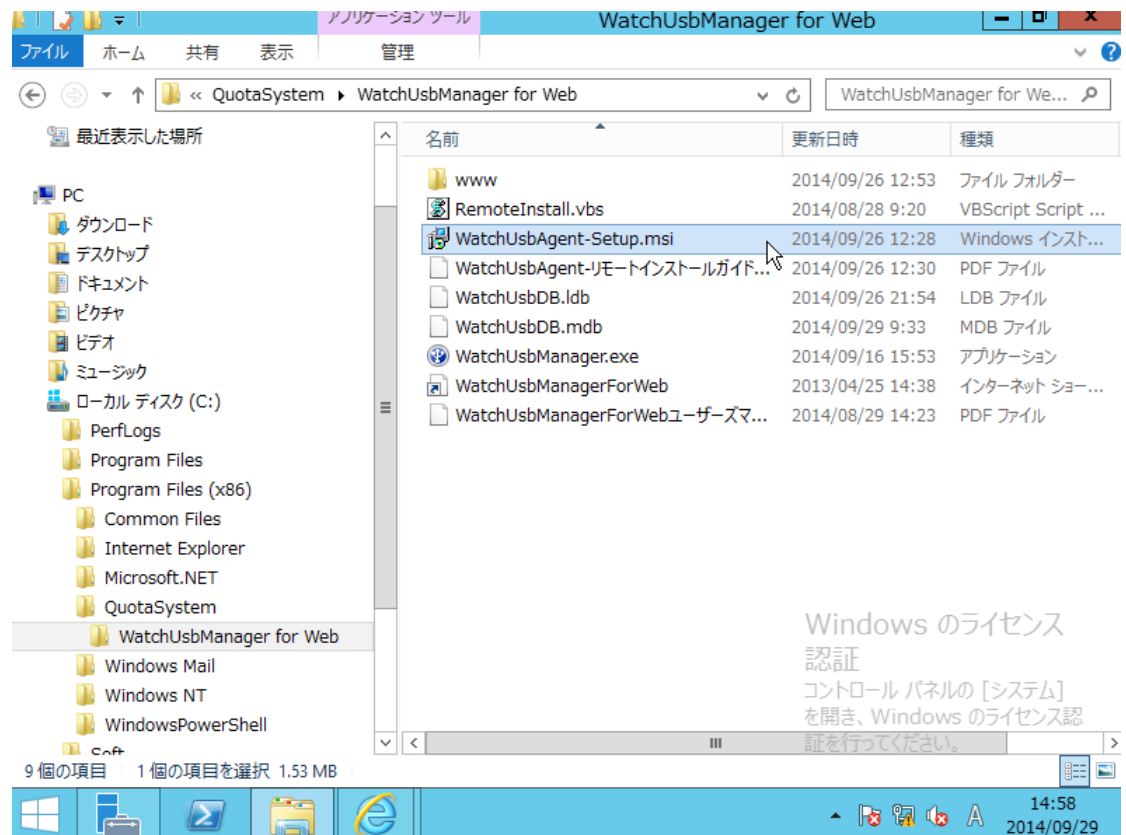
2.1 Windows AD のグループポリシーを利用したリモートインストール

1)

「watac

「WatchUsbAgent-Setup.msi」の準備

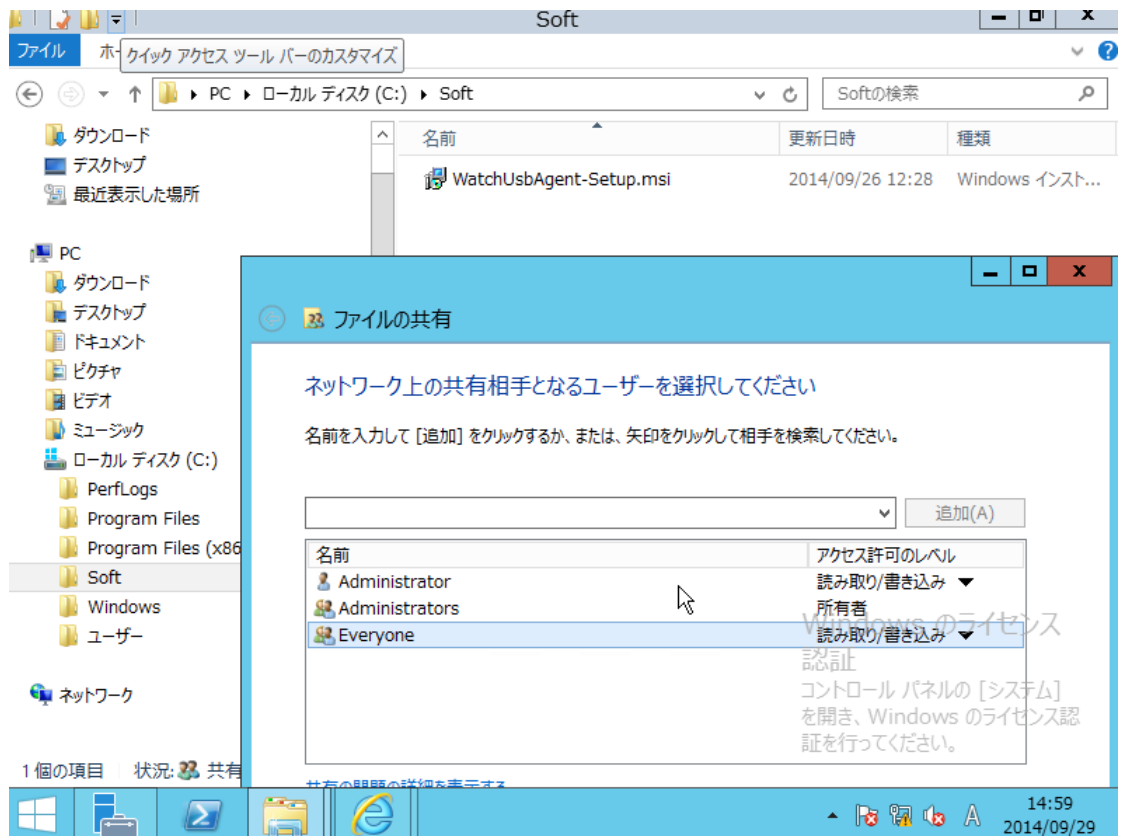
「WatchUsbManager for Web」をインストールするとインストールディレクトリにクライアント PC にインストールする Agent インストーラもいっしょに保存されます。デフォルトでは以下のディレクトリ下にインストールされます。



この MSI インストーラファイルを使用します。

2) MSI インストーラを AD サーバに配置

MSI インストーラをクライアントがログオンするドメインコントローラに配置します。配置フォルダはサーバ上でファイル共有を設定し、どのクライアントからも参照できるようにします。当ガイドではサーバ上に「c:\%Soft」フォルダを作成、Everyone-読み込み/書込み権限を付与、共有名に「Soft」を設定しどのクライアントからも MSI インストーラが参照できるようにしました。

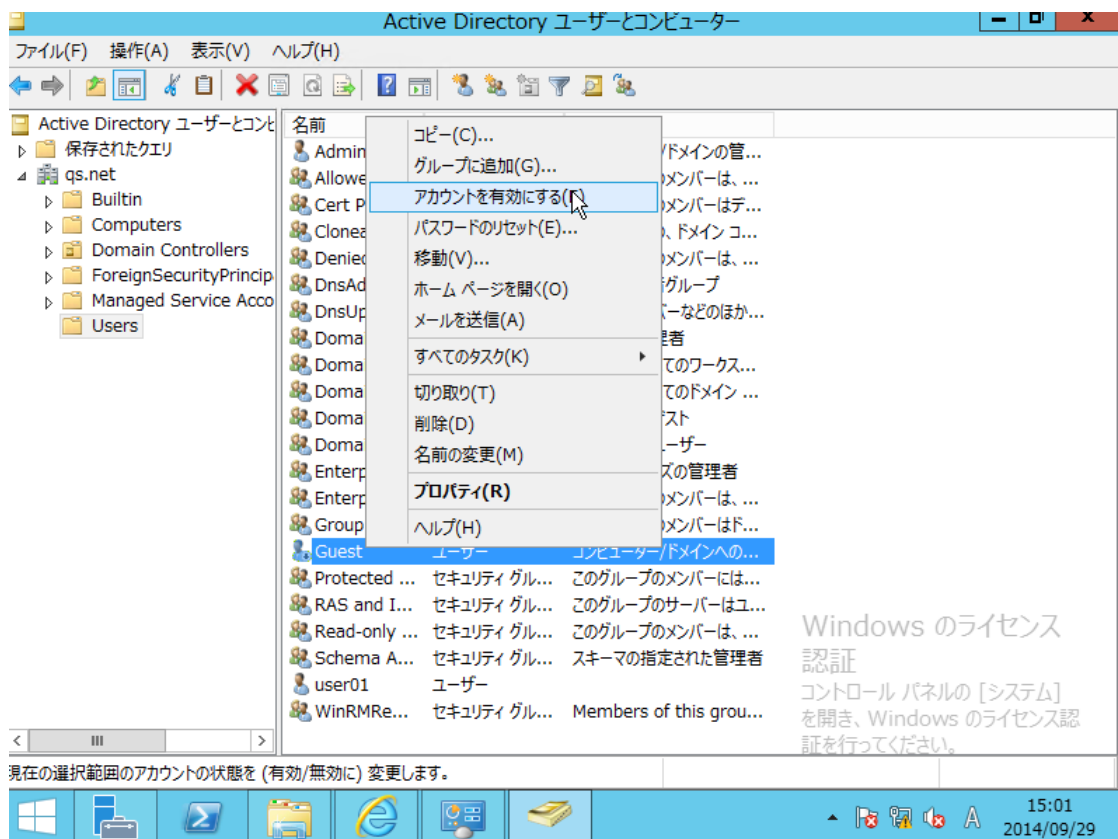


3)

AD サー

バの「Guest」アカウントを有効に設定

共有フォルダ接続時の認証をスキップするため「Guest」アカウントを有効にします。



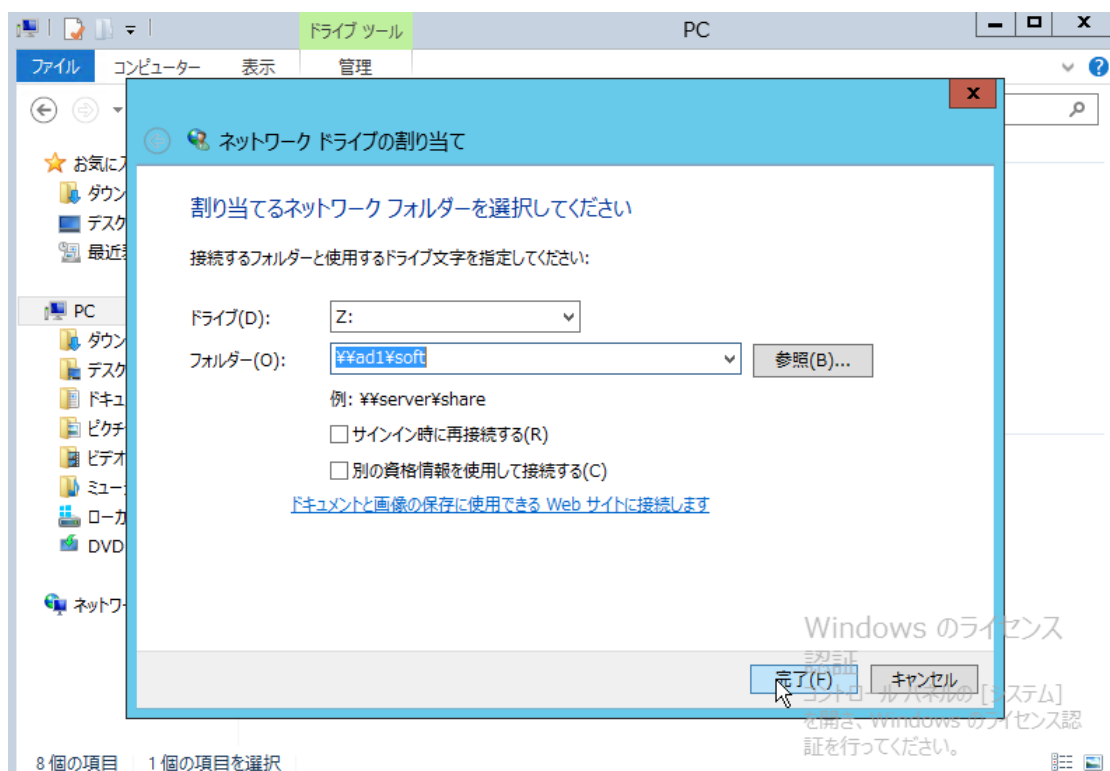
4)

ネット

ワークドライブの割り当て

2) で共有設定した「c:\¥Soft」を「ネットワークドライブの割り当て」でドライブの割り当てを行います。

以下は「Z:」ドライブに割り当てています。

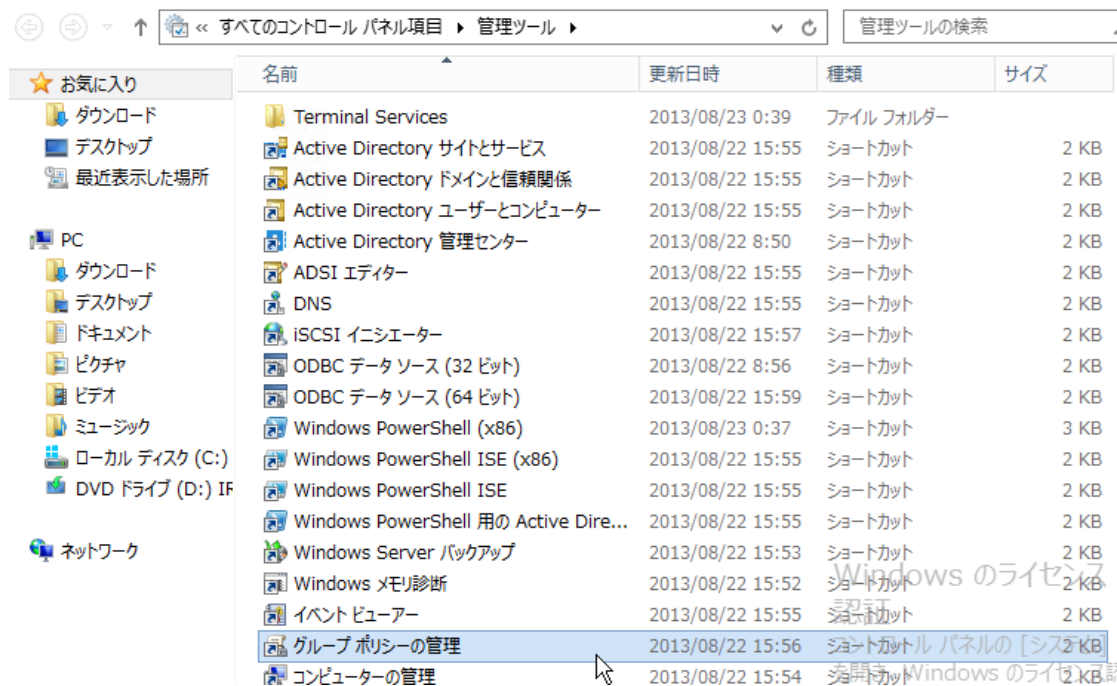


5)

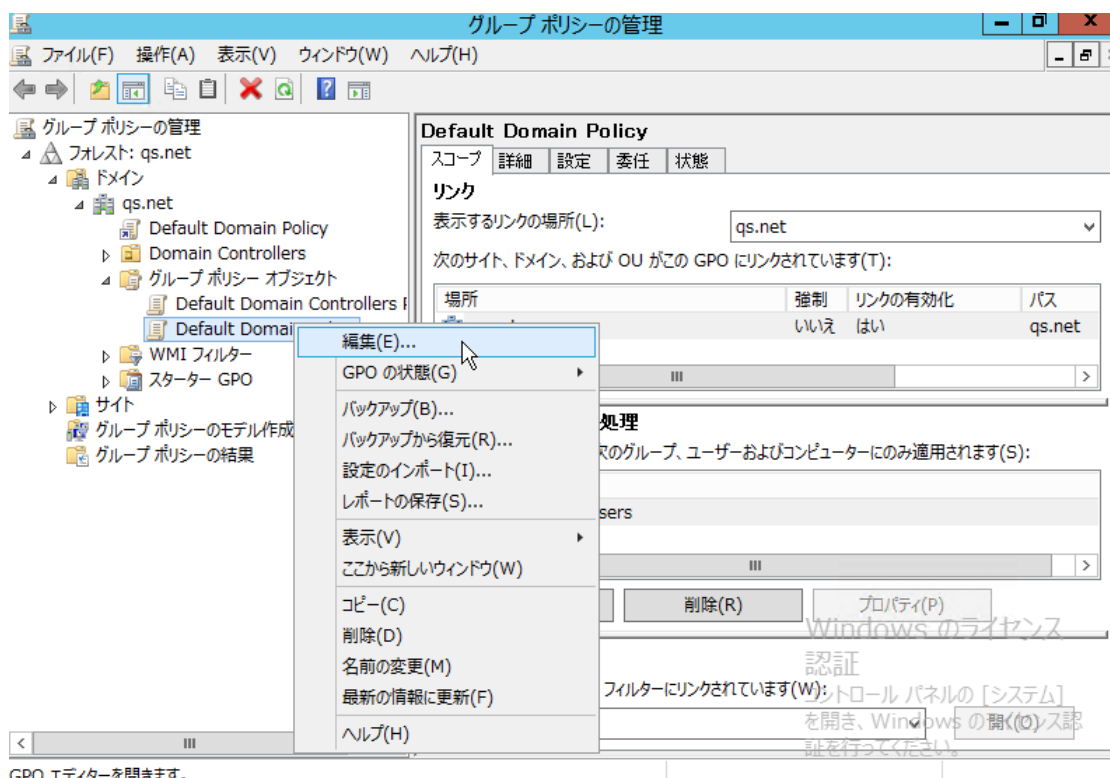
AD グル

グループポリシーの設定

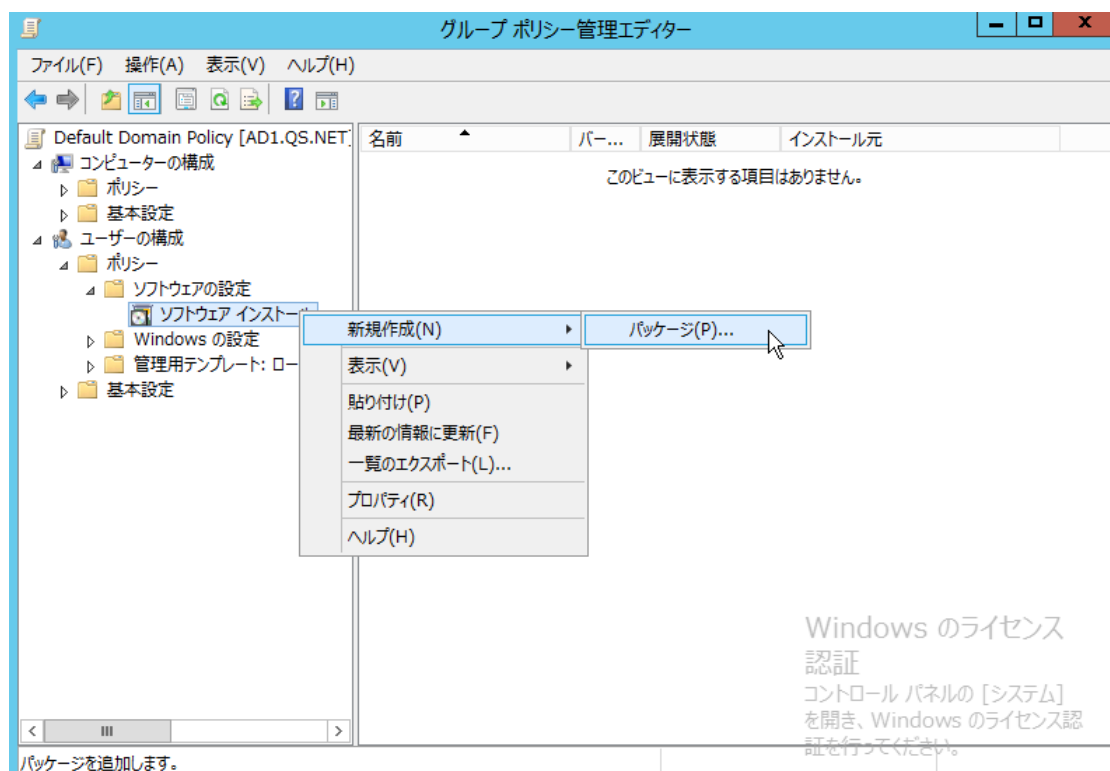
「管理ツール」から「グループポリシーの管理」を起動します。



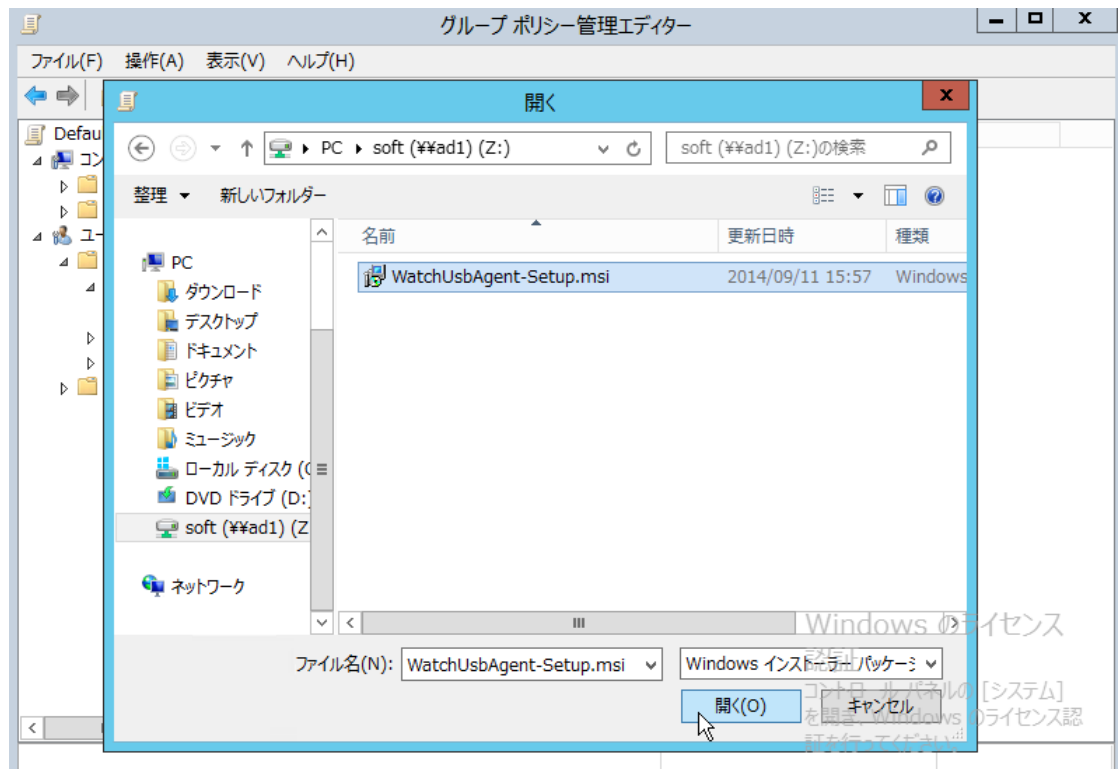
ドメインコントローラの「Default Domain Policy」を選択してから右クリック「編集」を選択します。



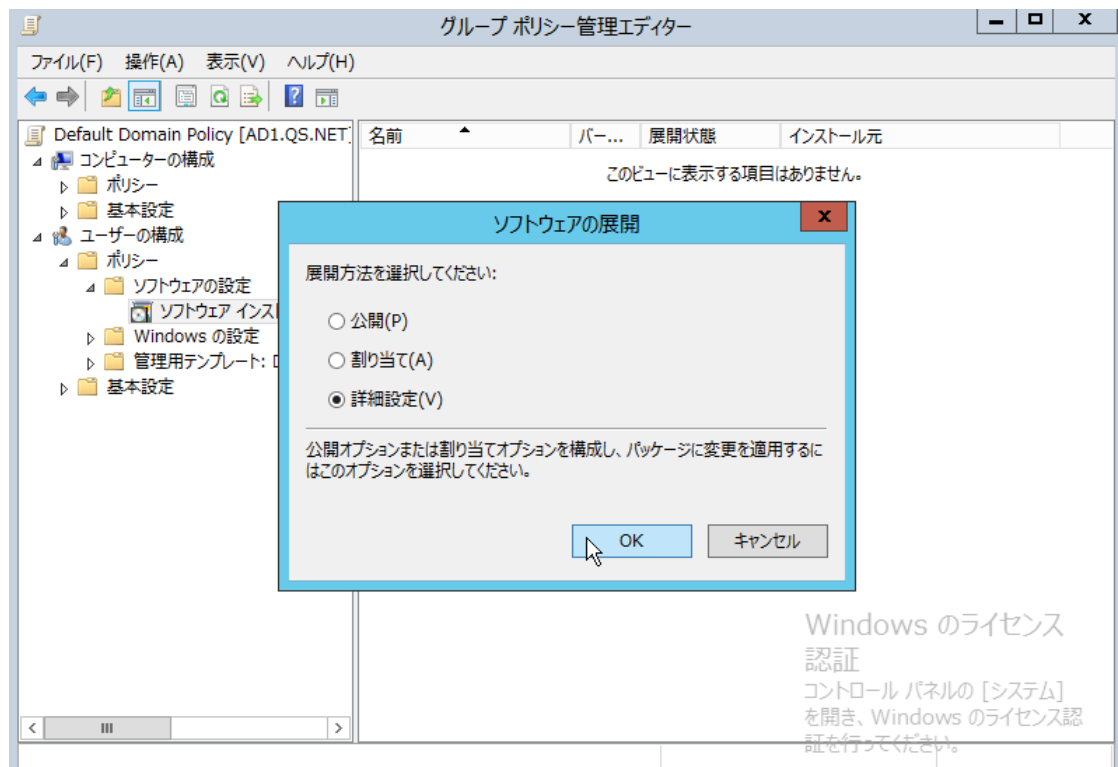
「ソフトウェアインストール」を選択して右クリック、「新規作成」を選択して「パッケージ」をクリックします。



「z:」ドライブの MSI インストーラを選択して「開く」ボタンを押します。

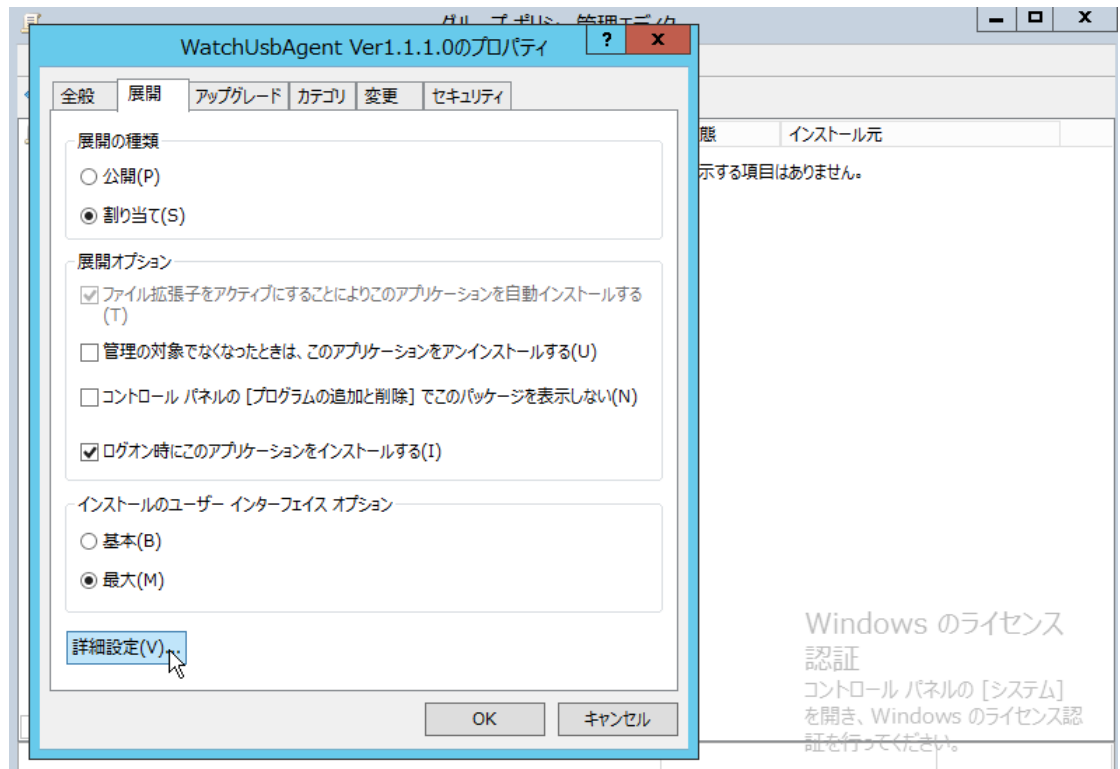


「詳細設定」を選択して、「OK」ボタンを押下します。

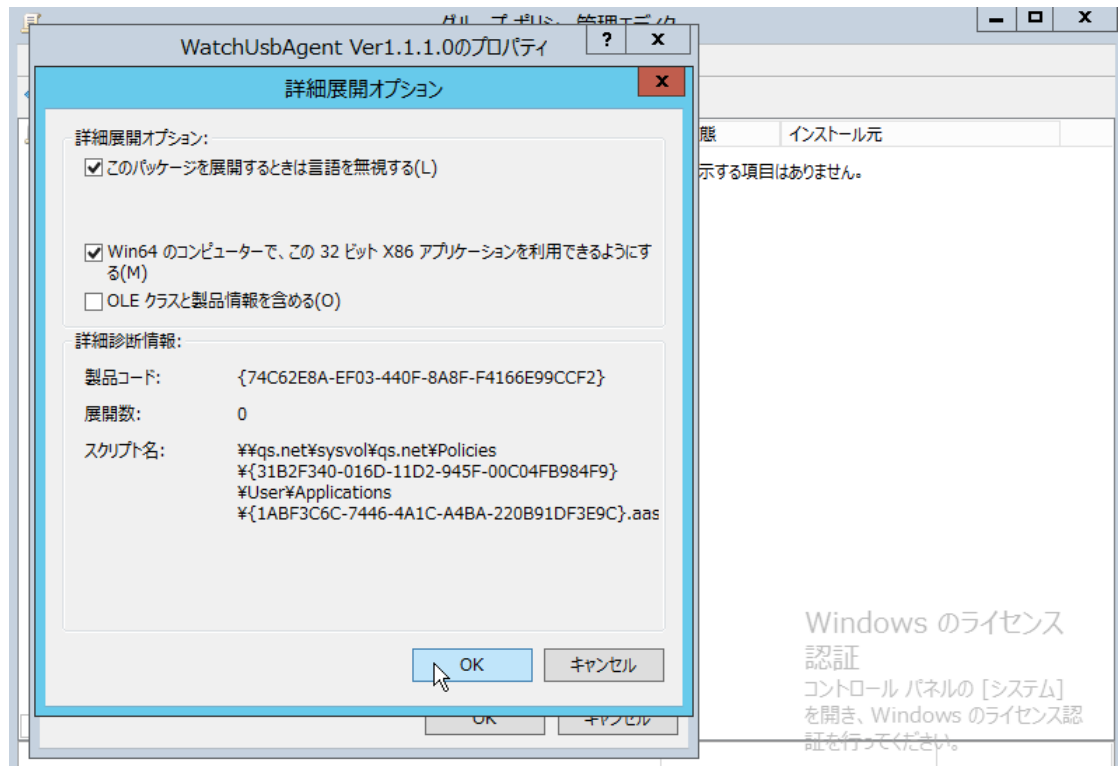


「展開」タブを選択して「展開の種類」－「割り当て」、「ログオン時にこのアプリケーションをイ

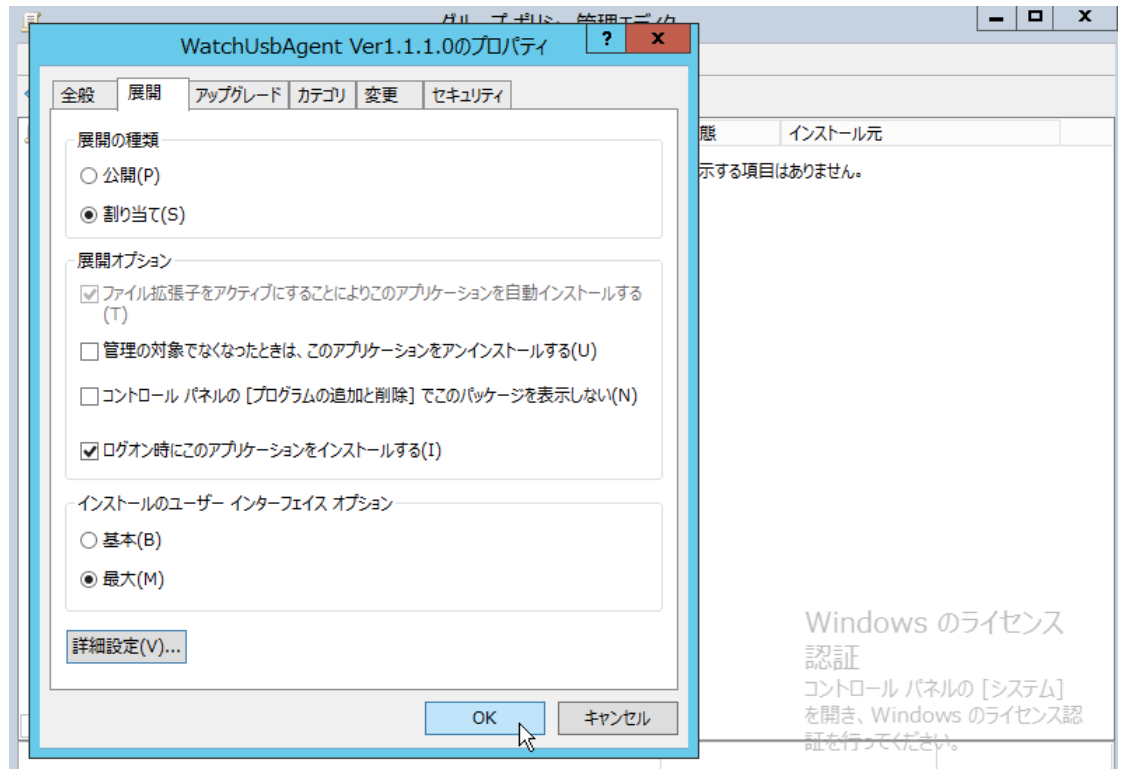
インストールする」にチェックを入れたのち、「詳細設定」ボタンを押下します。



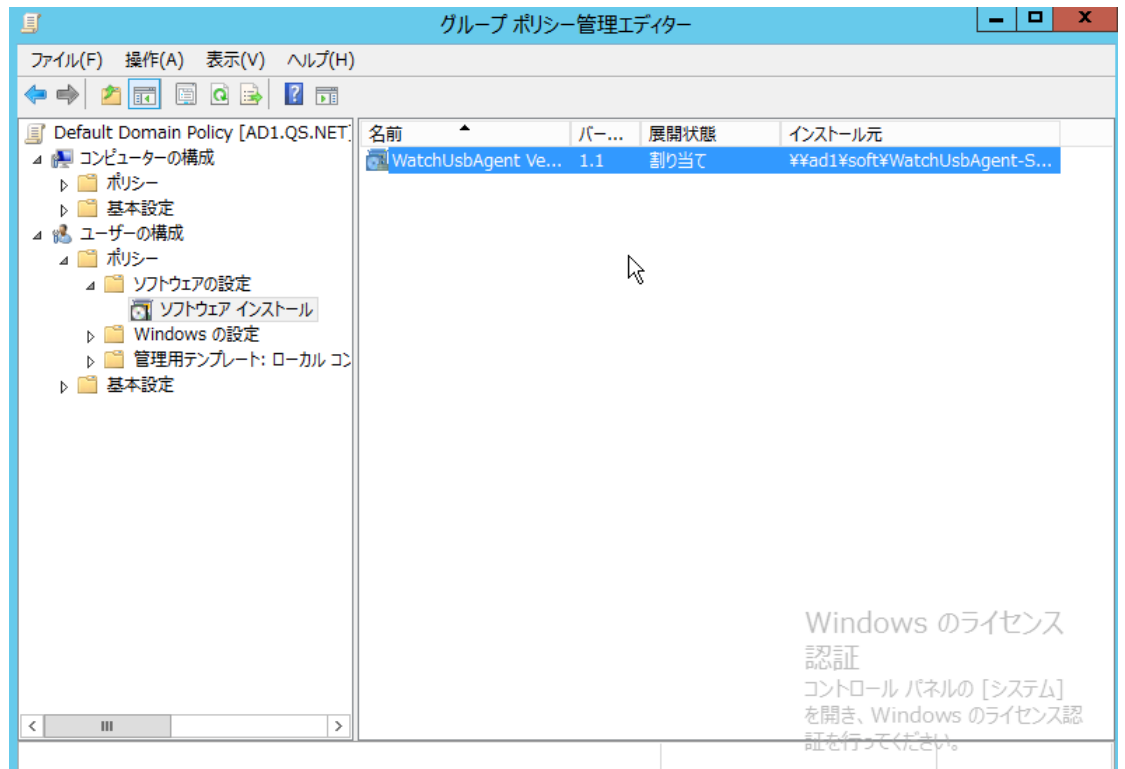
「このパッケージを展開するときは言語を無視する」にチェックを入れ、「OK」ボタンを押下します。



「OK」ボタンを押下して設定は終了です。



グループポリシーの一覧に「WatchUsbAgent」MSI インストーラが追加されました。



これで、クライアント PC がログオンするタイミングで「WatchUsbAgent」が自動的にインストールさ

れ、同時に起動するようになります。
念のため、AD サーバを再起動してください。

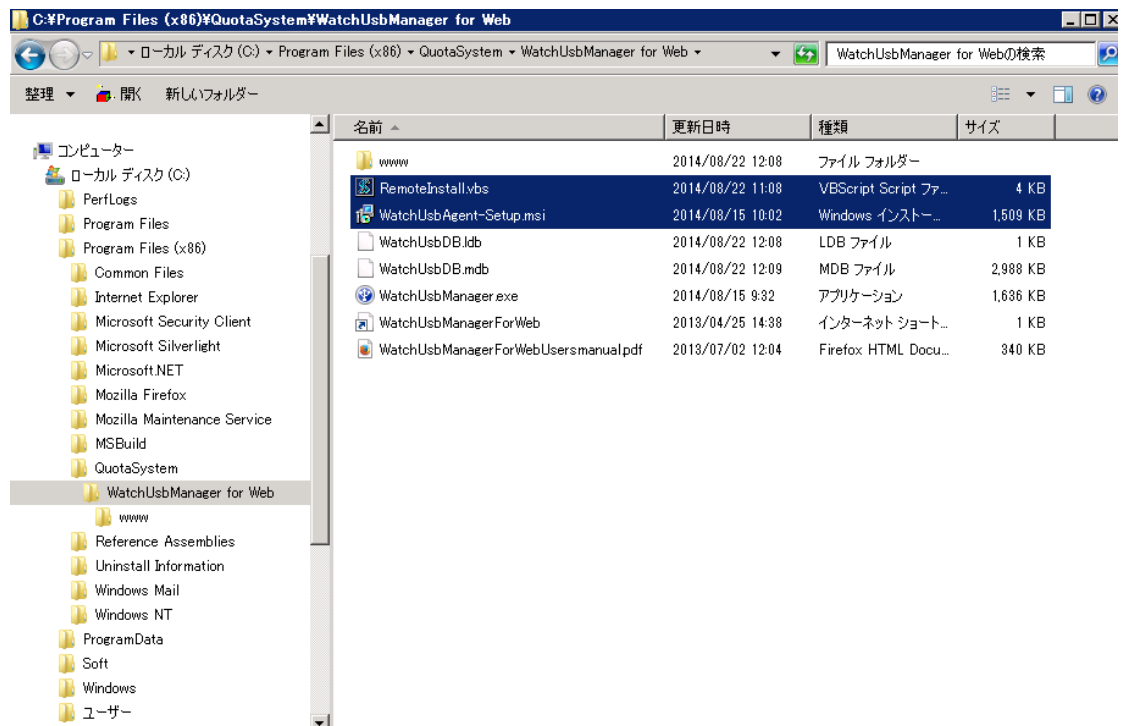
2.2 スクリプト「RemoteInstall.vbs」を利用したリモートインストール

1)

スクリ

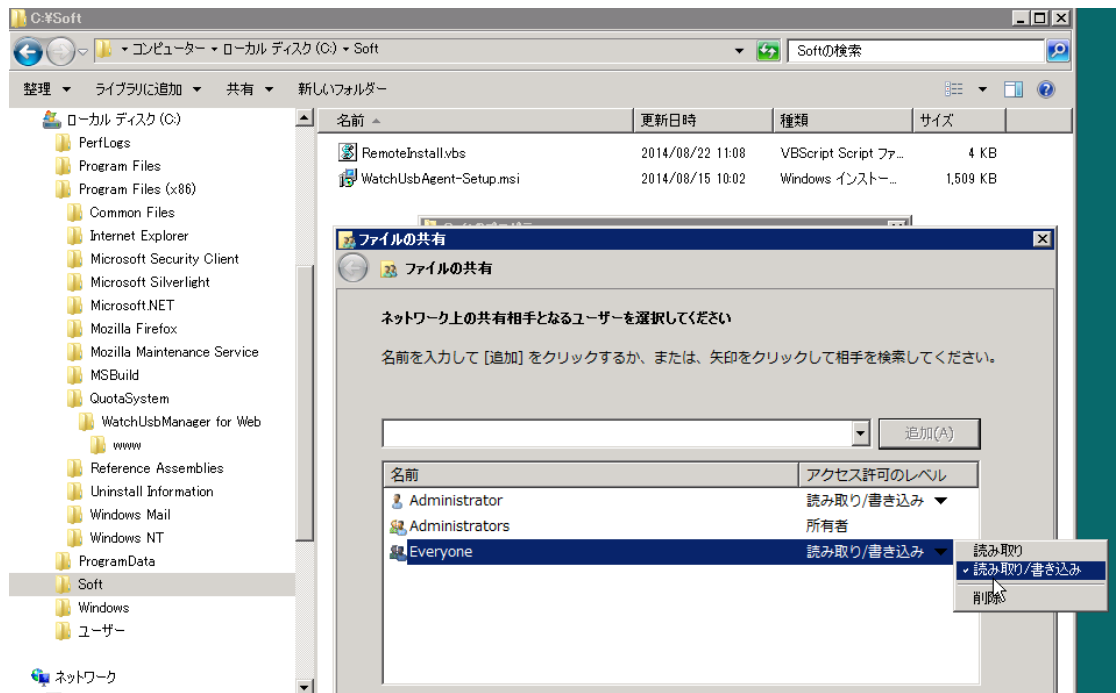
スクリプト「RemoteInstall.vbs」とインストーラ「watchUsbAgent-Setup.msi」の準備

「WatchUsbManager for Web」をインストールするとインストールディレクトリにスクリプト、およびクライアント PC にインストールする Agent インストーラもいっしょに保存されます。デフォルトでは以下のディレクトリ下にインストールされます。



2) スクリプト、インストーラを AD サーバに配置

スクリプト、インストーラをクライアントがログオンするドメインコントローラに配置します。配置フォルダはサーバ上でファイル共有を設定し、どのクライアントからも参照できるようにします。当ガイドではサーバ上に「c:\Soft」フォルダを作成、Everyone-読み込み/書き込み権限を付与、共有名に「Soft」を設定しどのクライアントからもスクリプト、およびインストーラが参照できるようにしました。

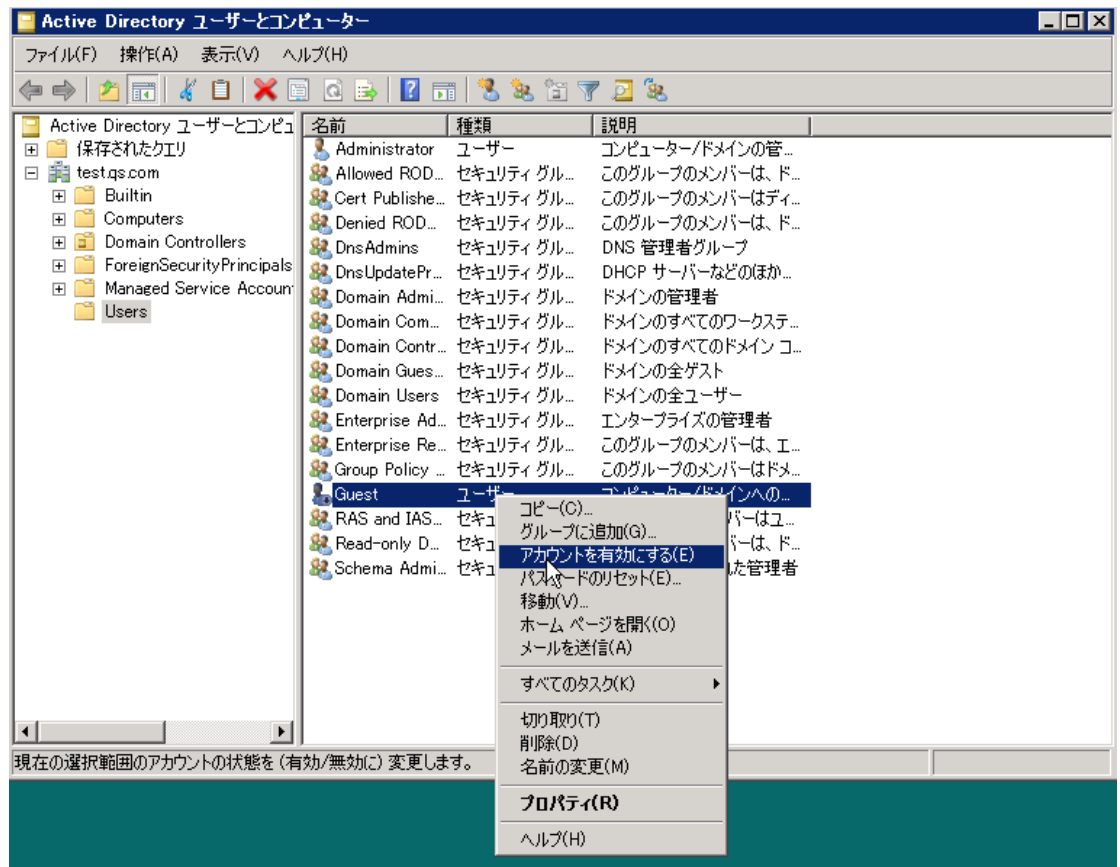


3)

AD サー

バの「Guest」アカウントを有効に設定

共有フォルダ接続時の認証をスキップするため「Guest」アカウントを有効にします。



4) PsExec.exe を AD サーバに配置

PsExec は以下の Microsoft 社ホームページからダウンロードします。

Windows Sysinternals

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/bb897553.aspx>

Windows Sysinternals

Bing で TechNet を検索

ホーム ラーニング **ダウンロード** コミュニティ

ファイルとディスク ネットワーク プロセス セキュリティ システム情報 その他

評価してください: ☆☆☆☆☆

Windows Sysinternals > ダウンロード > プロセス > PsExec



Windows Sysinternals

- ツール
- ファイルとディスク
- ネットワーク
- プロセス
- セキュリティ
- システム情報
- その他

すべてのツールを見る
>> ツール一覧

すべてのツールを一括ダウンロードする
>> Sysinternals Suite

関連情報

PsExec

作成者: Mark Russinovich

PsTools のダウンロード
(1.31 MB)

WR 98635 404 error fixed概要

Telnet などのユーティリティや Symantec pcAnywhere などのリモートコントロールプログラムを使用すると、リモートシステムでプログラムを実行できます。ですが、設定するのがたいへんなうえに、アクセスするリモートシステムにクライアントソフトウェアをインストールする必要があります。PsExec は、Telnet に代わる軽量のユーティリティで、クライアントソフトウェアを手動でインストールしなくても、他のシステムでプロセスを実行できるだけでなく、コンソールアプリケーションとの十分な対話性も備わっています。PsExec の最も便利な用途には、たとえば、リモートシステムで対話型のコマンドプロンプトを起動したり、ipconfig のようなリモートの実行に対応したツールを起動したりすることが挙げられます。PsExec で起動しない限り、そのようなツールにはリモートシステムについての情報を表示する機能がありません。

注: ウイルス検出プログラムによって 1 つ以上のツールが RemoteAdmin ウイルスに感染していると報告されることがあります。PsTools にウイルスが含まれていることはありませんが、ウイルスによって PsTools が使用されたことがあります。ウイルスの検出通知が表示されるのは、このためです。

ダウンロード

ダウンロード

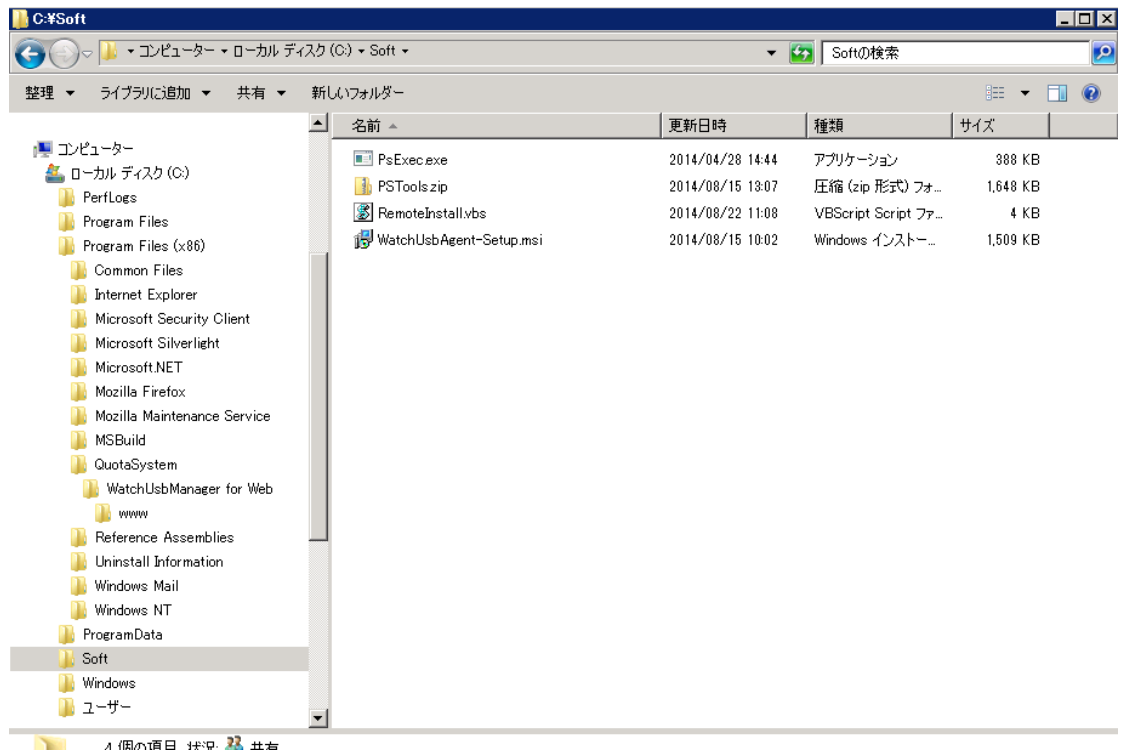
PsExec は、PsTools という Sysinternals のコマンドラインツールキットの一部です。PsTools は、ローカルシステムとリモートシステムの管理をサポートするツールキットで、収録されているツールの数は増えています。

PsTools のダウンロード
(1.31 MB)

ダウンロード

- クライアント: Windows XP 以降
- サーバー: Windows Server 2003 以降

ダウンロードした「PsTools.zip」を解凍し、スクリプトと同じフォルダ（当ガイドでは c:\Soft フォルダ下）に「PsExec.exe」を保存します。



5) スクリプト編集

実行環境にあわせてスクリプトを一部編集します。

RemoteInstall.vbs をメモ帳などで開いて下記の変数に値を入力します。

1. 「AD ドメイン名¥ドメイン管理者のユーザ名」と「パスワード」の設定
Const Admin = ""
Const Pass = ""

リモートインストールの対象がドメインに所属していないクライアント PC の場合は、そのクライアント PC の管理者のユーザ名/パスワードを設定します。

2. 「¥¥AD サーバのホスト名¥スクリプトフォルダの共有名」(¥¥ホスト名¥共有名)の設定
Const HostShare = ""
3. インストール、アンインストール対象のコンピュータ名称の設定
Const ClientHost = "*"

デフォルト"*"は、ドメインに所属するすべてのコンピュータが対象になります。
たとえば、

```
Const Admin = "test.qs.com¥administrator"  
Const Pass = "dcPassw0rd"  
Const HostShare = "¥¥AD-Server¥Soft"  
Const ClientHost = "*"
```

のような形式で編集します。

4. 管理サーバの IP アドレス設定
Const ManagerIP = ""

インストールするクライアント PC が管理サーバと別ネットワークに存在する場合は、ここに管理サーバの IP アドレスを設定します。

※別ネットワークから管理サーバへ接続するには別途クライアント Agent ライセンスをご購入いただく必要があります。

評価版は 1 クライアント Agent ライセンスが付属しており、お試しすることが可能です。

2.3 スクリプト実行

1) 「PsExec.exe」の確認

「PsExec.exe」の動作環境が整ったかどうか簡単なコマンドを実行して確認してみます。
サーバの「psexec.exe」が配置されている場所（当ガイドでは c:¥Soft）から次のとおり「PsExec.exe」を実行します。

```
c:¥soft¥psexec..exe ¥¥* -u ドメインコントローラの管理者ユーザ名 -p パスワード  
ipconfig
```

上記を実行するとドメインに所属している PC に設定されている IP アドレスがすべて表示されます。
ここで正常に表示されない場合は、以下にあげられる原因が考えられます。

- 「A system error has occurred: 6118」エラーが表示される
サーバ上で「Computer Browser」サービスを実行することで解消する場合があります。
- 「アクセスが拒否されました」エラーが表示される
クライアントPCのファイアウォールが有効になっていて受け付けられない場合が考えられます。
または、ドメインに所属していないクライアントPCにインストールする場合は、「UAC」を無効にする必要があります。

2) コマンドプロンプトからのスクリプト実行

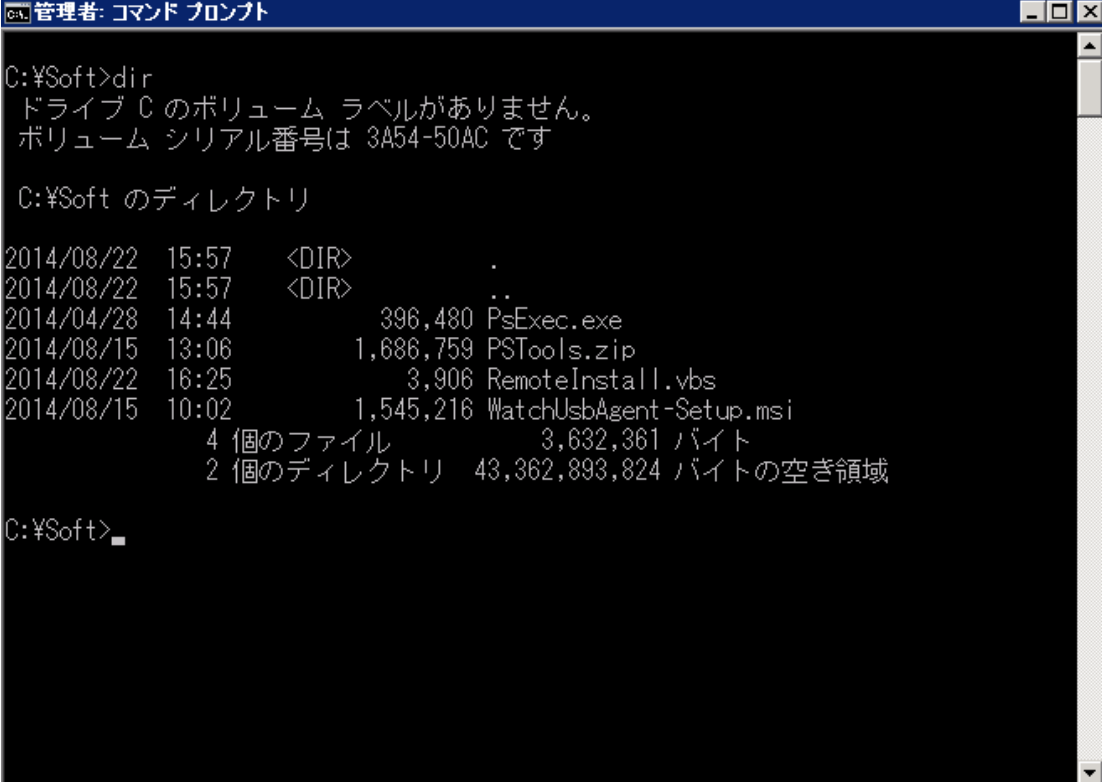
「PsExec.exe」の準備、スクリプトの編集が終わったらスクリプトを実行してリモートインストールを行います。

ADに所属しているクライアントPCにリモートインストールを自動で行います。

実行時にクライアントPCが起動していないとインストールされません。

実行はコマンドプロンプトからスクリプトを実行します。

コマンドプロンプトを起動し、スクリプトが存在するフォルダに移動します。



```

C:\Soft>dir
ドライブ C のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 3A54-50AC です

C:\Soft のディレクトリ

2014/08/22  15:57    <DIR>          .
2014/08/22  15:57    <DIR>          ..
2014/04/28  14:44                396,480 PsExec.exe
2014/08/15  13:06            1,686,759 PSTools.zip
2014/08/22  16:25                3,906 RemoteInstall.vbs
2014/08/15  10:02            1,545,216 WatchUsbAgent-Setup.msi
               4 個のファイル                3,632,361 バイト
               2 個のディレクトリ  43,362,893,824 バイトの空き領域

C:\Soft>

```

3) スクリプトの実行パラメータ

スクリプト「RemoteInstall.vbs」は引数を与えることで「WatchUsbAgent」のインストール、アンインストールを行うことが可能です。

- i 「WatchUsbAgent」のインストール
- x 「WatchUsbAgent」のアンインストール

4) スクリプトの実行-インストール

まずは、スクリプトを実行しクライアントPCに「WatchUsbAgent」をインストールしてみます。

```
管理: コマンド プロンプト
C:\¥Soft>dir
ドライブ C のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 3A54-50AC です

C:\¥Soft のディレクトリ

2014/08/22  15:57    <DIR>          .
2014/08/22  15:57    <DIR>          ..
2014/04/28  14:44             396,480 PsExec.exe
2014/08/15  13:06           1,686,759 PSTools.zip
2014/08/22  16:25             3,906 RemoteInstall.vbs
2014/08/15  10:02           1,545,216 WatchUsbAgent-Setup.msi
               4 個のファイル             3,632,361 バイト
               2 個のディレクトリ  43,362,893,824 バイトの空き領域

C:\¥Soft>remoteinstall.vbs -i
```

実行すると、スクリプトの実行 Window が表示され終了すると実行 Window はなくなります。
終了すると実行結果ログファイル「RemoteInstallLog.txt」が出力されますので正常にインストール
できたかどうか確認します。

```
管理: コマンド プロンプト
2014/08/15  13:06           1,686,759 PSTools.zip
2014/08/22  16:25             3,906 RemoteInstall.vbs
2014/08/15  10:02           1,545,216 WatchUsbAgent-Setup.msi
               4 個のファイル             3,632,361 バイト
               2 個のディレクトリ  43,362,893,824 バイトの空き領域

C:\¥Soft>remoteinstall.vbs -i

C:\¥Soft>dir
ドライブ C のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 3A54-50AC です

C:\¥Soft のディレクトリ

2014/08/22  16:40    <DIR>          .
2014/08/22  16:40    <DIR>          ..
2014/04/28  14:44             396,480 PsExec.exe
2014/08/15  13:06           1,686,759 PSTools.zip
2014/08/22  16:25             3,906 RemoteInstall.vbs
2014/08/22  16:40             57,934 RemoteInstallLog.txt
2014/08/15  10:02           1,545,216 WatchUsbAgent-Setup.msi
               5 個のファイル             3,690,295 バイト
               2 個のディレクトリ  43,359,014,912 バイトの空き領域

C:\¥Soft>
```

5) **インストール対象 PC 一覧ファイルからの一括インストール**

スクリプト実行時のオプションで「-f ファイル名」を与えるとファイルに記述されたホスト PC に一括でインストール、アンインストールを行うことができます。

ファイルのフォーマットは、1 行 1 ホスト名で記述します。

たとえば、下記内容で「pclist.txt」というファイル名で保存します。

pclist.txt の中身

```
client-pc1
client-pc2
client-pc3
:
:
```

インストールスクリプトの実行

```
remoteinstall.vbs - i - f pclist.txt
```

6) **インストールログファイルの確認**

出力されるログファイルの内容は以下のようになります。

インストール PC の 1 台分のログは

```
=== ログ開始 : 2014/08/22 16:40:31 ===
```

```
=== ログ終了 : 2014/08/22 16:40:32 ===
```

の単位で出力されます。

最初のインストール PC は AD 自身となりますのでご注意ください。

ログ出力行に「ComputerName」がありますのでこの行でどのクライアント PC に導入したかがわかります。

```
=== ログ開始 : 2014/08/22 16:40:31 ===
```

```
アクション開始 16:40:31 : INSTALL。
```

```
アクション開始 16:40:31 : AppSearch。
```

途中省略

```
アクション開始 16:40:32 : InstallFinalize。
```

```
アクション終了 16:40:32 : InstallFinalize。 戻り値 1。
```

```
アクション終了 16:40:32 : INSTALL。 戻り値 1。
```

```
Property(S): RecentFolder =
```

```
C:\Users\Administrator\AppData\Roaming\Microsoft\Windows\Recent\
```

```
Property(S): DiskPrompt = [1]
```

途中省略

```
Property(S): LogonUser = administrator
```

```
Property(S): UserSID = S-1-5-21-3122631434-815195043-2312789161-500
```

```
Property(S): UserLanguageID = 1041
```

```
Property(S): ComputerName = AD-SERVER
```

途中省略

```
Property(S): ProductToBeRegistered = 1
```

```
MSI (s) (48:C0) [16:40:32:366]: 製品 : WatchUsbAgent Ver1.1.1.0 -- インストールは正常に終了しました。
```

MSI (s) (48:C0) [16:40:32:366]: Windows インストーラーにより製品がインストールされました。
製品名: WatchUsbAgent Ver1.1.1.0、製品バージョン: 1.1.1.0、製品の言語: 1041、製造元:
QuotaSystem, Inc.、インストールの成功またはエラーの状態: 0

=== ログ終了 : 2014/08/22 16:40:32 ===

=== ログ開始 : 2014/08/22 16:40:36 ===

アクション開始 16:40:36 : INSTALL。

アクション開始 16:40:36 : AppSearch。

途中省略

アクション開始 16:40:37 : InstallFinalize。

アクション終了 16:40:37 : InstallFinalize。 戻り値 1。

アクション終了 16:40:37 : INSTALL。 戻り値 1。

Property(S): DiskPrompt = [1]

Property(S): UpgradeCode = {8A7FD0E2-E17F-4DD0-8FC5-99872D8A980E}

途中省略

Property(S): LogonUser = administrator

Property(S): UserSID = S-1-5-21-3122631434-815195043-2312789161-500

Property(S): UserLanguageID = 1041

Property(S): ComputerName = TEST-PC

途中省略

Property(S): ProductToBeRegistered = 1

MSI (s) (E8:78) [16:40:37:626]: 製品 : WatchUsbAgent Ver1.1.1.0 -- インストールは正常に終了しました。

MSI (s) (E8:78) [16:40:37:626]: Windows インストーラーにより製品がインストールされました。
製品名: WatchUsbAgent Ver1.1.1.0、製品バージョン: 1.1.1.0、製品の言語: 1041、製造元:
QuotaSystem, Inc.、インストールの成功またはエラーの状態: 0

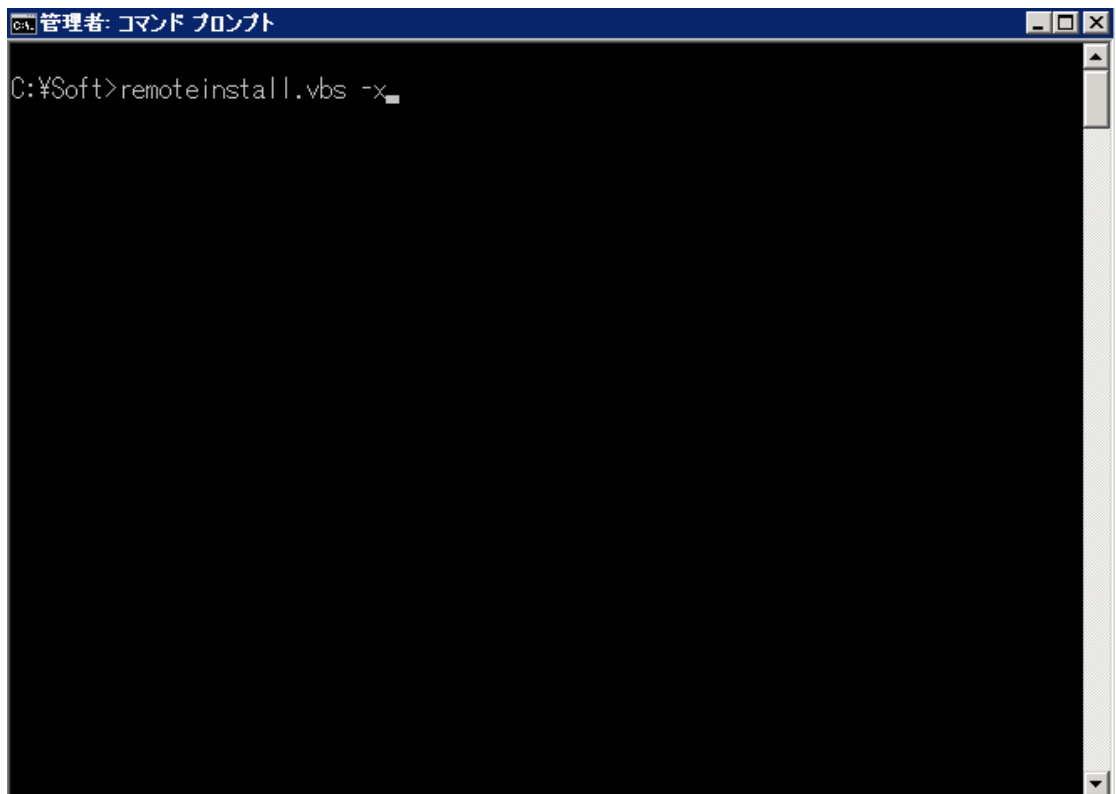
=== ログ終了 : 2014/08/22 16:40:37 ===

7) 「WatchUsbAgent」の起動

リモートインストールされた「WatchUsbAgent」は、次回ログオン時に自動起動されます。

8) スクリプトの実行-アンインストール

アンインストールは「-x」パラメータを指定してスクリプトを実行します。



9) アンインストールログファイルの確認

出力されるログファイルの内容は以下のようになります。
アンインストールPCの1台分のログは同様に

```
=== ログ開始 : 2014/08/22 16:40:31 ===  
=== ログ終了 : 2014/08/22 16:40:32 ===
```

の単位で出力されます。

```
=== ログ開始 : 2014/08/22 17:29:04 ===  
アクション開始 17:29:04 : INSTALL。  
アクション開始 17:29:04 : AppSearch。
```

途中省略

```
アクション開始 17:29:04 : InstallFinalize。  
アクション終了 17:29:04 : InstallFinalize。 戻り値 1。  
アクション終了 17:29:04 : INSTALL。 戻り値 1。  
Property(S): PrintHoodFolder =  
C:\¥Users¥Administrator¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Windows¥Printer Shortcuts¥  
Property(S): LogonUser = administrator  
Property(S): UserSID = S-1-5-21-3122631434-815195043-2312789161-500  
Property(S): UserLanguageID = 1041  
Property(S): ComputerName = AD-SERVER  
Property(S): SystemLanguageID = 1041
```

途中省略

```
Property(S): PrimaryVolumeSpaceRemaining = 0
```

MSI (s) (D0:7C) [17:29:04:935]: 製品 : WatchUsbAgent Ver1.1.1.0 -- 削除を正しく完了しました。

MSI (s) (D0:7C) [17:29:04:935]: Windows インストーラーにより製品が削除されました。製品名: WatchUsbAgent Ver1.1.1.0、製品バージョン: 1.1.1.0、製品の言語: 1041、製造元: QuotaSystem, Inc.、削除の成功またはエラーの状態: 0

=== ログ終了 : 2014/08/22 17:29:04 ===

=== ログ開始 : 2014/08/22 17:29:06 ===

アクション開始 17:29:06 : INSTALL。

アクション開始 17:29:06 : AppSearch。

途中省略

アクション開始 17:29:06 : InstallFinalize。

アクション終了 17:29:06 : InstallFinalize。 戻り値 1。

アクション終了 17:29:06 : INSTALL。 戻り値 1。

Property(S): DiskPrompt = [1]

Property(S): UpgradeCode = {8A7FD0E2-E17F-4DD0-8FC5-99872D8A980E}

途中省略

Property(S): LogonUser = administrator

Property(S): UserSID = S-1-5-21-3122631434-815195043-2312789161-500

Property(S): UserLanguageID = 1041

Property(S): ComputerName = TEST-PC

Property(S): SystemLanguageID = 1041

途中省略

Property(S): PrimaryVolumeSpaceRemaining = 0

MSI (s) (70:9C) [17:29:07:079]: 製品 : WatchUsbAgent Ver1.1.1.0 -- 削除を正しく完了しました。

MSI (s) (70:9C) [17:29:07:079]: Windows インストーラーにより製品が削除されました。製品名: WatchUsbAgent Ver1.1.1.0、製品バージョン: 1.1.1.0、製品の言語: 1041、製造元: QuotaSystem, Inc.、削除の成功またはエラーの状態: 0

=== ログ終了 : 2014/08/22 17:29:07 ===